

金融セクターの M&A の市場動向

佐山展生 (GCA サヴィアングループ株式会社)

要旨

リーマン・ショック以降、銀行や証券会社などの大型 M&A 案件がいくつか登場している。野村ホールディングスが、リーマン・ブラザーズのアジア・パシフィック地域部門の継承したほか、三菱 UFJ 証券は、モルガン・スタンレー証券のインベストメントバンキング部門と統合し、三菱 UFJ フィナンシャル・グループが 60%、モルガン・スタンレーが 40%出資する三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券として新たな第一歩を踏み出すこととなっている。さらに、中央三井トラスト・グループと住友信託銀行グループが経営統合を発表し、国内の金融機関同士の M&A も複数登場している。

本プレゼンでは、グローバルでの競争力強化を主な目的として実施される金融セクターの M&A の市場動向について考察する。

略歴

1976 年京都大学工学部高分子化学科卒業。1994 年ニューヨーク大学大学院 Stern 卒業 (MBA)。1999 年東京工業大学大学院社会理工学研究科博士後期課程卒業 (学術博士)。1976 年帝人株式会社入社。1987 年三井銀行 (現三井住友銀行) 入社、M&A アドバイザリー業務を担当。1998 年代表取締役パートナーとしてユニゾン・キャピタルを共同設立。2004 年 4 月 GCA 株式会社共同設立し代表取締役パートナー、2008 年 3 月 GCA サヴィアングループ株式会社取締役、2008 年 3 月インテグラル株式会社代表取締役パートナー就任。一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。